

さいたま市の 市政と財政状況



さいたま市



令和2年10月
財政局財政部財政課

さいたま市大宮盆栽美術館



鉄道博物館



ツール・ド・フランス
さいたまクリテルウム

目次



第1章 さいたま市の持つチカラ

- ・ さいたま市のプロフィール・・・・・・・・・・ 1
- ・ チカラ①発達した交通網・・・・・・・・・・ 2
- ・ 発達した交通網を活かした戦略的な企業誘致・・ 3
- ・ チカラ②「住みやすい」まち・・・・・・・・・・ 4
- ・ 「子育て世代」から選ばれるまち・・・・・・・・ 6
- ・ スポーツN o. 1 都市戦略・・・・・・・・・・ 7
- ・ 持続可能な成長・発展に向けて・・・・・・・・ 8
- ・ まちづくりへの積極的な投資・・・・・・・・・・ 9



第2章 さいたま市の財政

- ・ 令和元年度決算収支・・・・・・・・・・ 1 1
- ・ 市税収入・・・・・・・・・・ 1 2
- ・ 義務的経費・・・・・・・・・・ 1 3
- ・ 財政指標・・・・・・・・・・ 1 5
- ・ 財政指標の比較・・・・・・・・・・ 1 6
- ・ 基金残高の推移・・・・・・・・・・ 1 7
- ・ 令和2年度予算・・・・・・・・・・ 1 8
- ・ 予算の構成比（一般会計）・・・・・・・・・・ 1 9
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策
（令和2年度補正予算）・・・・・・・・ 2 0

第3章 さいたま市の起債運営

- ・ 市債発行実績と今後の見込み・・・・・・・・ 2 1
- ・ 市債発行実績（調達先・発行年限）・・・・ 2 2
- ・ 市債残高の推移・・・・・・・・・・ 2 3
- ・ プライマリーバランスと残高比較・・・・ 2 4
- ・ 市場公募地方債・・・・・・・・・・ 2 5

第1章



さいたま市の持つチカラ

さいたま市のプロフィール

東日本の玄関口 さいたま市の持つチカラ

チカラ① 発達した交通網

P.2

鉄道、道路網が発達した東日本の玄関口

- ・発達した交通網を活かし、積極的な企業誘致！

チカラ② 住みやすいまち

P.4

さいたま市の「住みやすさ」に高評価

- ・市民の8割超が「住みやすい」と評価！
- ・指定都市「幸福度ランキング」第1位！

子育て世代から選ばれるまち

- ・0～14歳の転入超過 全国第1位！

スポーツNo. 1 都市戦略

- ・大型スポーツイベントの開催等を通じた
交流人口拡大による地域経済の活性化！

増え続ける人口

- ・令和12年頃まで人口増加が続く見込み！

2つのチカラ を活かした取組

まちづくりへの積極的な投資 P.9

運命の10年

- ・市内人口がピークを迎える令和12年頃まで
まちづくりへの積極的な投資を行うことで
持続可能な成長・発展につなげる！



出典：「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」（さいたま市）



チカラ① 発達した交通網

- ・ 東北・北陸圏、北海道を連結する **首都圏対流拠点**！
- ・ 新幹線6路線をはじめ、鉄道、高速道路網が発達した **東日本の玄関口**！

大宮駅を起点に、東日本へのアクセスが便利に！

東北圏：仙台駅まで	約 66 分
北陸圏：金沢駅まで	約 124 分
北海道：新函館北斗駅まで	約 218 分
都心：東京駅、新宿駅まで	約 30 分
空港：羽田空港まで	約 61 分
成田空港まで	約 74 分

JR東日本1日平均乗車人員 ベスト10

順位	駅名	乗車人員(万人)
1位	新宿	77.5
2位	池袋	55.9
3位	東京	46.3
}		
8位	大宮	25.7

出典：「JR東日本駅別乗車人員ベスト100」2019年度



出典：「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画」(さいたま市)を基に加工。

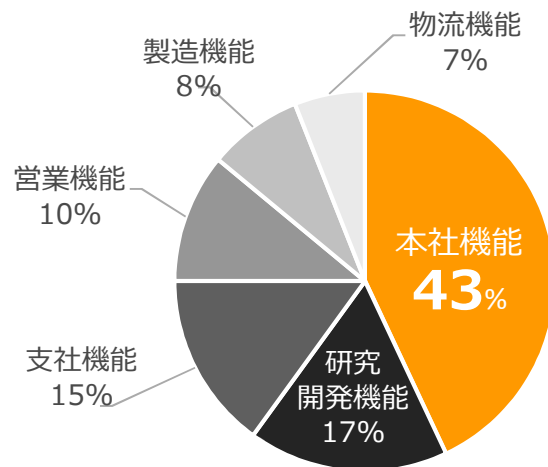
発達した交通網を活かした戦略的な企業誘致



- ・「**まもり、まねいて、そだてます**」をテーマに、発達した交通網等本市の強みを活かした企業誘致を実施！

企業誘致実績（機能別）

15年間(平成17～令和元年度)で、**181社**を誘致！



企業誘致の主な事例

- ・ マレリ株式会社
 - ・ 株式会社オリジン
 - ・ 藤倉コンポジット株式会社
 - ・ 株式会社 J R 東日本フーズ
 - ・ コニシ株式会社
 - ・ 株式会社ロッテ
- 等

令和元年度 経済波及効果

- ・ 建設投資による経済波及効果 約**229**億円
 - ・ 立地操業に伴う経済波及効果 約 **18**億円
- 合 計 約**247**億円

企業から長期的な成長を見据えて選ばれる都市

さいたま市10年間に在り企業（n=6,009）の特徴
売上高と従業員数の合計水準



市内での立地操業により、
従業員数、売上高ともに増加！

出典：「さいたま市における本社転出入実態調査」（株）帝国データバンク（令和元年）を基に加工。

チカラ②「住みやすい」まち

8割を超える市民が「住みやすい、住み続けたい」と評価！

- ・さいたま市の「住みやすさ」に高い評価が集まっている。



人口	1,323,110人 (対前年同月比 +10,845人)
世帯数	611,821世帯 (対前年同月比 +11,018世帯)
平均年齢	44.38歳

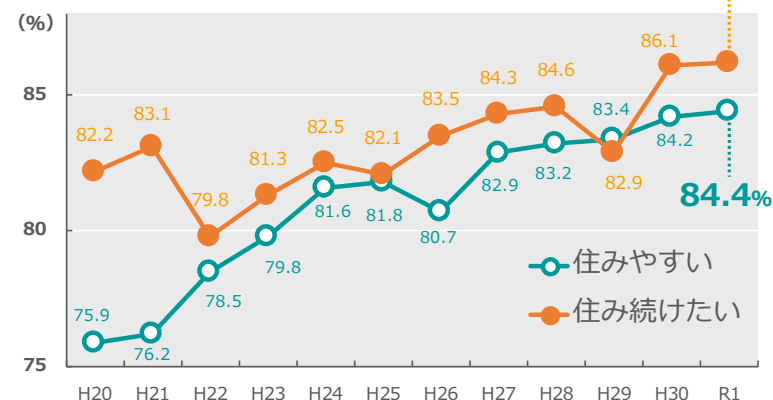
※令和2年10月1日現在

●市民のさいたま市に対するイメージ

順位	イメージ	割合(%)
1位	買い物など生活に便利なまち	60.4
2位	居住・生活環境のよいまち	51.9
2位	交通の利便性が高いまち	51.9
3位	関東の主要都市	37.2
4位	教育環境のよいまち	29.0
5位	災害に強く、治安のよいまち	28.9

出典：「令和元年度さいたま市民意識調査」（さいたま市）

●さいたま市の住みやすさと定住意向の推移 86.2%



出典：「令和元年度さいたま市民意識調査」（さいたま市）

チカラ②「住みやすい」まち

さいたま市の「**住みやすさ**」に、外部からも高い評価！

- ・「住みたい街ランキング」で **2駅** がトップ10にランクイン！
- ・「幸福度ランキング」で 指定都市中 **第1位**！

住みたい街ランキング 2020 関東版

順位	駅名
1位	横浜
2位	恵比寿
3位	吉祥寺
4位	大宮
5位	目黒
6位	品川
7位	新宿
8位	池袋
9位	中目黒
10位	浦和



出典：「SUUMO住みたい街ランキング2020関東版」
(株式会社リクルート住まいカンパニー)

政令指定都市 幸福度ランキング2020年度版

- ・「人口増加率」や「勤労者世帯可処分所得」が1位であり、**都心への良好なアクセスを背景としたベッドタウン**として成長を続けている。

総合順位	指定都市
1位	さいたま市
2位	川崎市
3位	浜松市
4位	名古屋市
5位	岡山市

主な要因

人口増加率
第1位

勤労者世帯
可処分所得
第1位

財政健全度
第4位

出典：「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」
(東洋経済新報社)

「子育て世代」から選ばれるまち



人口動態

- ・市内人口は、**毎年約 1 万人増加！**
- ・転入超過数は、**全国 3 位！**
- ・特に0～14歳の転入超過数は**全国 1 位！**

つまり、さいたま市は…

子育て世代から選ばれるまち

●転入超過（全年齢）

順位	市町村	転入超過数（人）
1位	東京都特別区	64,176
2位	大阪市	13,762
3位	さいたま市	11,252
4位	川崎市	10,618
5位	横浜市	10,306

出典：「住民基本台帳人口移動報告（2019年結果）」（総務省）

増え続ける人口



●転入超過（0～14歳）

順位	市町村	転入超過数（人）
1位	さいたま市	1,482
2位	札幌市	906
3位	柏市	838
4位	印西市	747
5位	流山市	745

出典：「住民基本台帳人口移動報告（2019年結果）」（総務省）

スポーツNo.1都市戦略



スポーツ振興による地域経済活性化を加速化させ、
国内外から注目される **スポーツ先進都市** を目指す

- ・市内のスポーツ興行施設を活かした **大型スポーツ大会・イベントの開催に加え、誘致・支援** を実施！

主なスポーツ興行施設



埼玉スタジアム2002

- ・Jリーグ浦和レッズのホームスタジアム
- ・東京2020大会「サッカー」競技会場



さいたまスーパーアリーナ

- ・フィギュアスケートなど各種イベントを開催
- ・東京2020大会「バスケットボール」競技会場



ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム

主なスポーツイベントの開催実績

- ・ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム (📷写真)
- ・さいたま国際マラソン
- ・FIVB女子バレーボールワールドグランプリ
- ・全日本フィギュアスケート選手権大会 等

スポーツ大会・イベント開催に伴う経済波及効果

約**790.2**億円 (平成23年度～令和元年度)

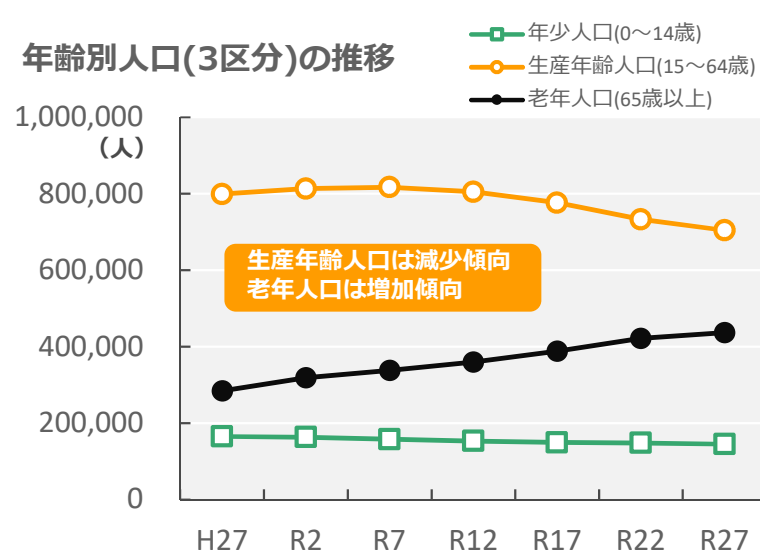
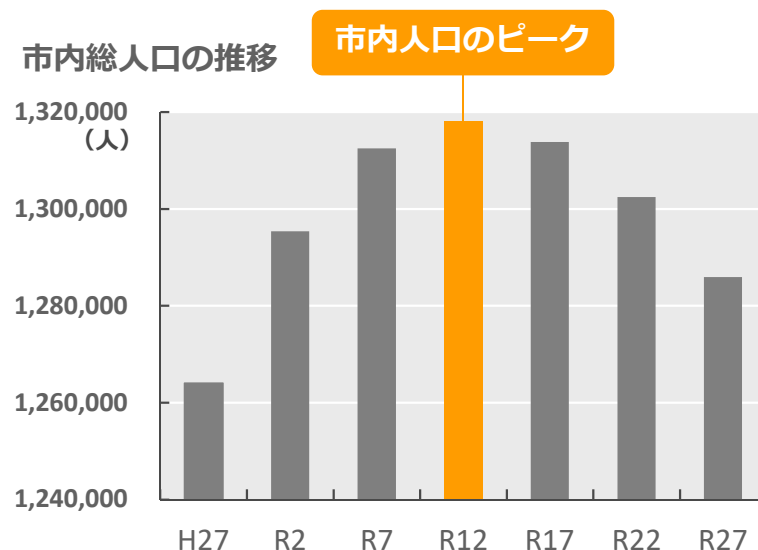
ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム来場者

約**81.5**万人 (平成25年度～令和元年度の延べ人数)

持続可能な成長・発展に向けて

さいたま市は **令和12年頃まで人口増加が続く** 見込み
・市内人口がピークを迎える **令和12年までが、非常に大切な期間！**

この間に積極的な投資を行うことで、
持続可能な成長・発展につなげていく

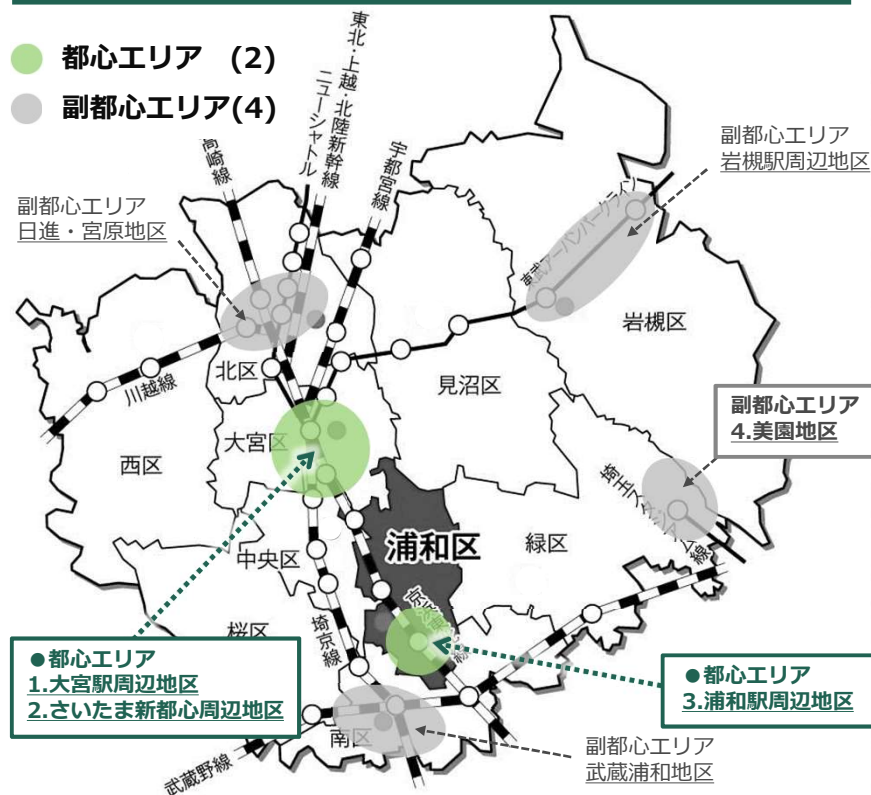


まちづくりへの積極的な投資



1. 大宮駅周辺地区

- 大宮駅西口、東口で **市街地再開発事業** が進行中。
 - ①大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業
 - ②大宮駅西口第3-B地区第一種市街地再開発事業
- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想** を推進。
※駅機能の高度化と併せ、駅前一体のまちづくりを推進



2. さいたま新都心周辺地区

- 国の「首都圏広域地方計画」で、大宮駅周辺と併せ、**災害時の首都圏機能のバックアップ拠点**に位置づけ。
- 東京2020大会に向け、全国各地と市内をバスで繋ぐ発着拠点 ⑤さいたま新都心バスターミナル が供用開始。

3. 浦和駅周辺地区

- 浦和駅西口で **市街地再開発事業** が進行中。
 - ④浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業

4. 美園地区

- 次世代自動車・スマートエネルギー特区(第2期)を活用し、**スマートホーム・コミュニティの普及**を推進。
- 流入人口の増加に伴い、**小・中学校を新設**。
- 東京2020大会に向け、河川の氾濫を抑止する「調節池」の底面を、競技会場「埼玉スタジアム2002」と連携したイベント空間として有効活用する ⑥大門上池調節池・底面広場整備 を実施中。

市全域

- 子育て世代の転入等に伴い保育需要が高まり、**全国で最多の待機児童が生じていることから、市内全域で ⑥保育所の増設**を積極的に推進。

まちづくりへの積極的な投資



①大宮駅東口大門町2丁目中地区 第一種市街地再開発事業

オフィス、商業施設に加え、市民会館の機能を導入し、「新しい文化発信の拠点」となる複合施設を整備



令和3年度完成予定

②大宮駅西口第3-B地区 第一種市街地再開発事業

賑わい創出と防災性の向上に向け、住宅、商業の機能を導入した複合施設と道路を一体的に整備



令和5年度完成予定

③さいたま新都心バスターミナル

東京2020大会に向け全国各地と市内をバスで繋ぐ発着拠点を整備



令和2年6月供用開始

④浦和駅西口南高砂地区 第一種市街地再開発事業

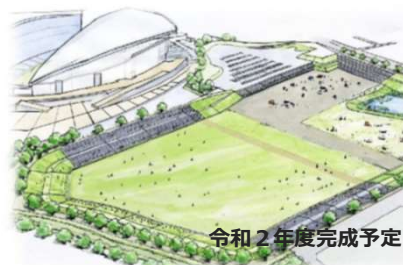
居住施設、商業施設に加え、市民会館や子育て支援センターの機能を導入した複合施設を整備



令和6年度完成予定
※事業計画変更中

⑤大門上池調節池 底面広場整備

東京2020大会に向け、調節池の底面を競技会場と連携したイベント空間として有効活用



令和2年度完成予定

⑥保育所の増設

子育てするならさいたま市！
新たに1,278人分を増設 (R1実績)



さいたま市長
清水勇人

第2章



さいたま市の財政



令和元年度決算収支

- ・ 実質収支は、さいたま市誕生以来、連続して黒字を達成！
- ・ 普通建設事業費の伸びに伴い、近年市債額（普通建設事業債）が増加傾向にある。

決算収支の状況（一般会計）

単位：百万円

	R1	H30	増減	増減率
A. 歳入決算額	551,534	542,051	9,483	1.7%
B. 歳出決算額	545,551	535,598	9,953	1.9%
C. 形式収支（A-B）	5,983	6,453	▲ 470	▲ 7.3%
D. 繰越財源	4,234	4,976	▲ 742	▲ 14.9%
E. 実質収支（C-D）	1,749	1,478	271	18.3%

※金額については、百万円単位のため差引額等が合わない場合があります。

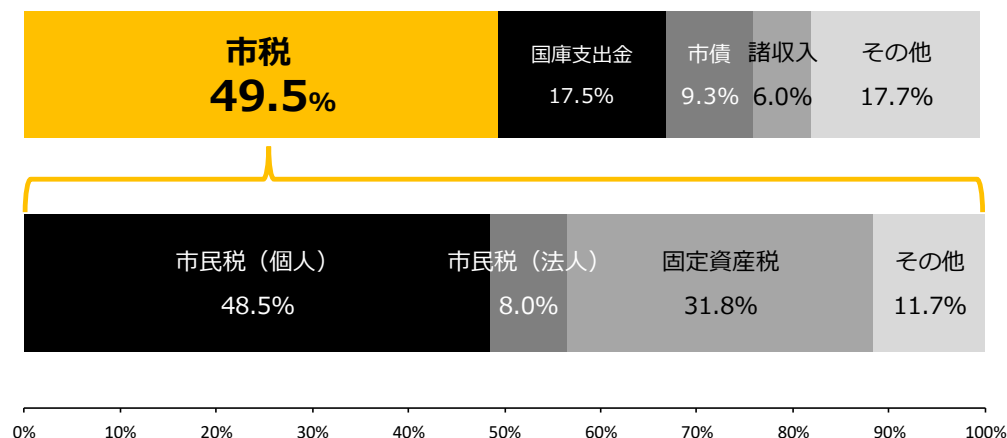
歳入・歳出決算状況（一般会計）

単位：百万円

<歳入>				
	R1	H30	増減	増減率
市税	274,012	265,178	8,834	3.3%
諸収入	33,968	29,877	4,090	13.7%
繰越金	6,453	8,318	▲ 1,865	▲ 22.4%
使用料及び手数料	7,901	8,278	▲ 377	▲ 4.5%
国庫支出金	95,831	90,365	5,466	6.0%
市債	50,475	59,052	▲ 8,577	▲ 14.5%
普通建設事業債	41,841	48,430	▲ 6,588	▲ 13.6%
臨時財政対策債	8,634	10,622	▲ 1,989	▲ 18.7%
県支出金	24,664	21,144	3,520	16.6%
地方消費税交付金	21,998	22,851	▲ 854	▲ 3.7%
地方交付税	6,771	6,412	358	5.6%
その他	29,461	30,576	▲ 1,114	▲ 3.6%
歳入合計	551,534	542,051	9,483	1.7%
<歳出>				
人件費	124,511	122,887	1,624	1.3%
扶助費	131,406	125,268	6,138	4.9%
公債費	52,921	50,837	2,084	4.1%
普通建設事業費	71,333	78,701	▲ 7,367	▲ 9.4%
その他	165,380	157,906	7,474	4.7%
歳出合計	545,551	535,598	9,953	1.9%

市税収入（令和元年度普通会計）

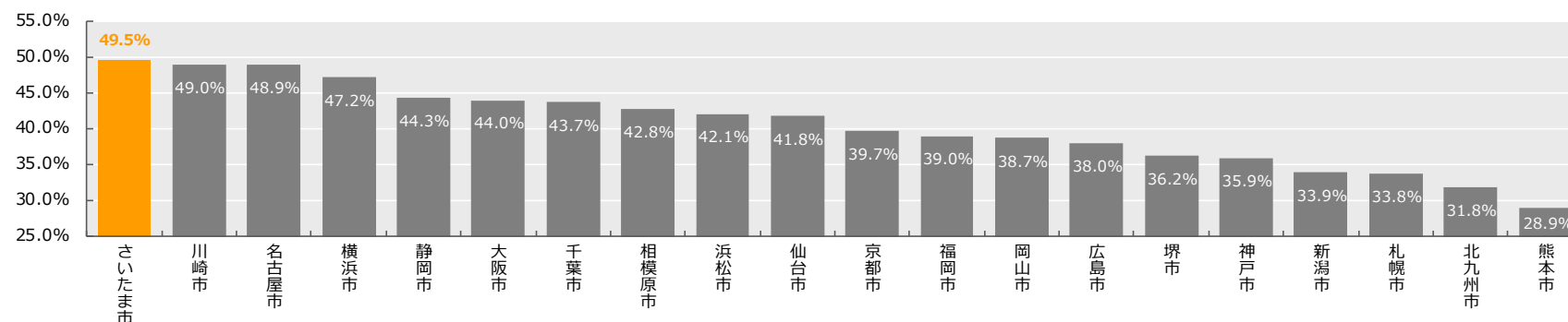
歳入に占める市税の割合



- ・ 歳入のうち 5 割が「市税」
- ・ 指定都市の中で、
歳入に占める市税の割合が
1 番高い！

安定的な税収基盤が
確保できている

他指定都市との比較

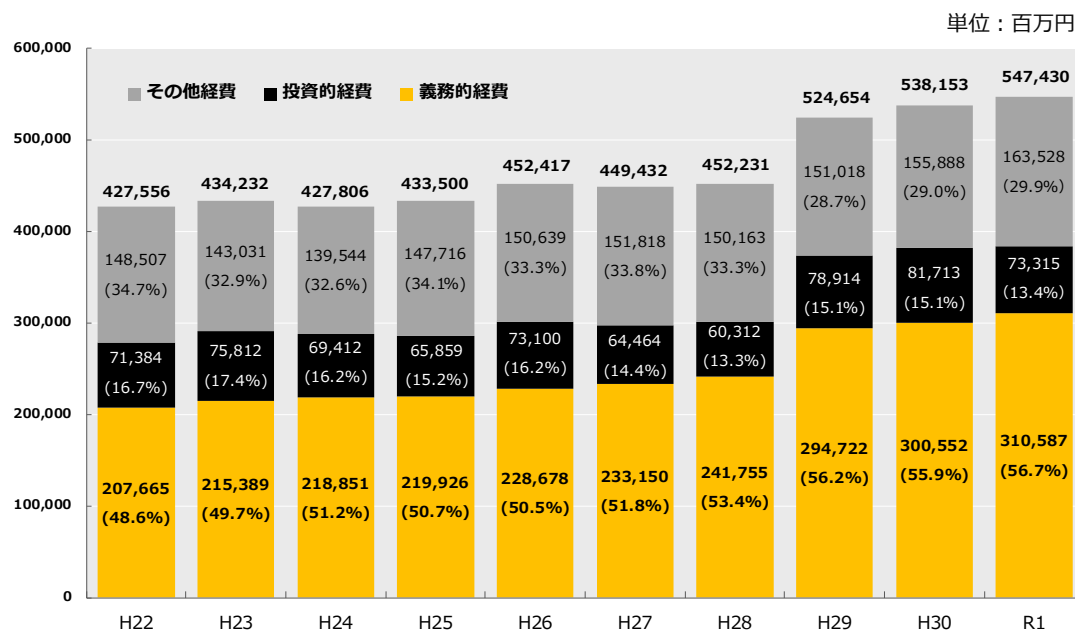


義務的経費（令和元年度普通会計）



- ・ **義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の支出が年々増加！**
- ・ 特に「扶助費」は、子育て世代の転入に伴う保育需要の高まり等により大きく増えており、今後も増加が見込まれる。

性質別歳出の推移



※グラフの()内は構成比

※項目ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と合計額は一致しない場合がある

義務的経費の内訳

- ・ 扶助費が著しく増加。
- ・ 人件費は、県費負担教職員の給与負担事務の権限移譲に伴い、平成29年度から増加。

区分	H22	H23	H24
人件費	75,258	73,206	73,045
扶助費	88,536	95,889	98,196
公債費	43,871	46,294	47,609
合計	207,665	215,389	218,851

区分	H25	H26	H27
人件費	70,674	72,939	75,080
扶助費	99,747	106,395	111,259
公債費	49,504	49,344	46,811
合計	219,926	228,678	233,150

区分	H28	H29	H30	R 1
人件費	74,194	121,318	123,021	124,642
扶助費	117,640	122,088	125,268	131,406
公債費	49,922	51,316	52,263	54,539
合計	241,755	294,722	300,552	310,587

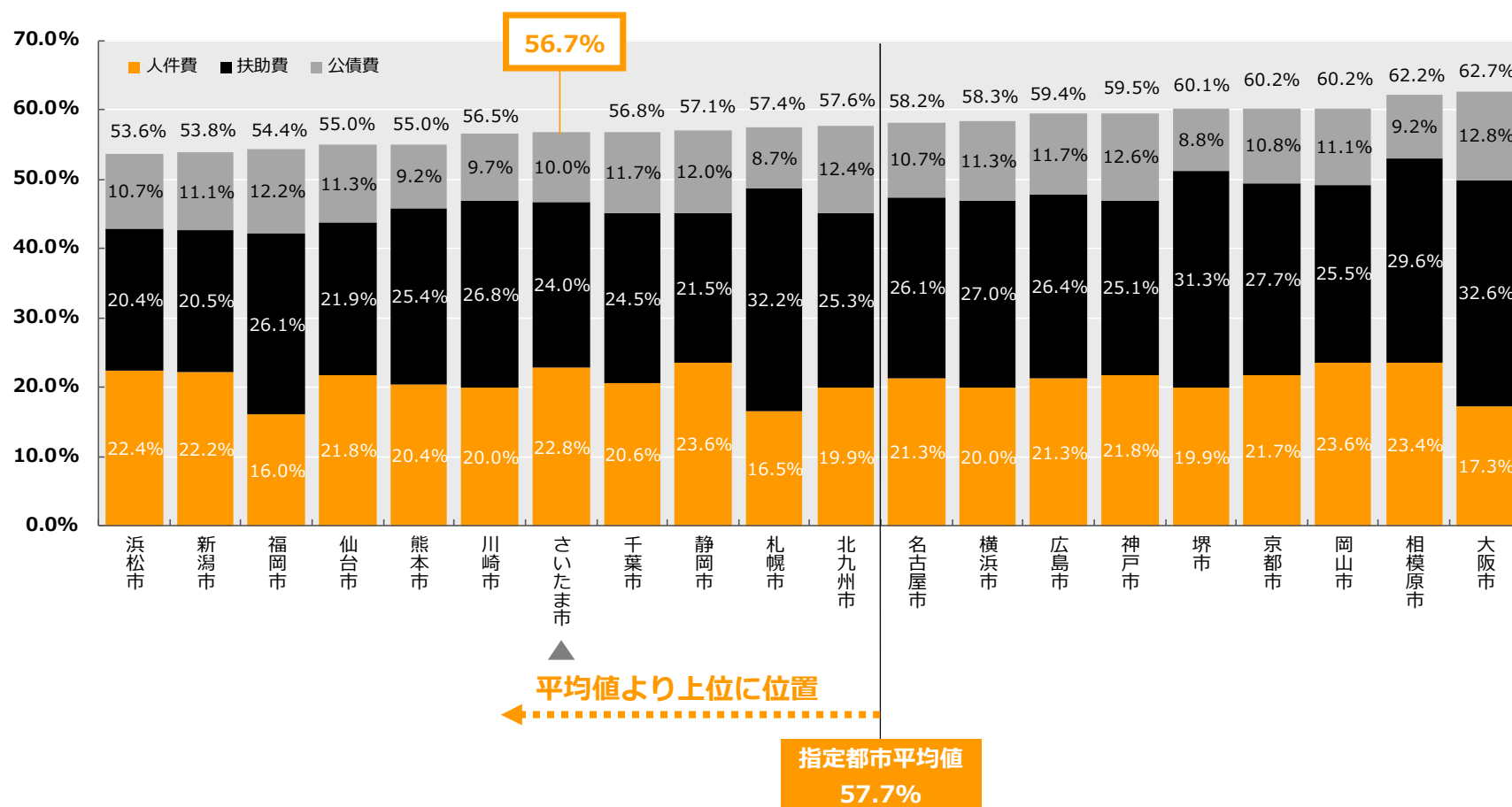
※扶助費は、10年前(H22)の約1.5倍に増加している。

義務的経費（令和元年度普通会計）



- ・ 歳出総額に占める義務的経費の割合は、**指定都市の平均より上位！**

※ さいたま市は 56.7%で、指定都市の平均は 57.7%。



財政指標（令和元年度普通会計）

- ・ いずれの指標も国が定める「早期健全化基準」を大きく下回っており、**財政の健全性を保っている！**
- ・ 実質公債費比率、将来負担比率ともに、**低い水準を維持！**

健全化判断比率

	R1	早期健全化基準
実質赤字比率	—	11.25%
連結実質赤字比率	—	16.25%
実質公債費比率	5.3%	25.0%
将来負担比率	32.0%	400.0%
資金不足比率 (10企業会計)	—	20.0%

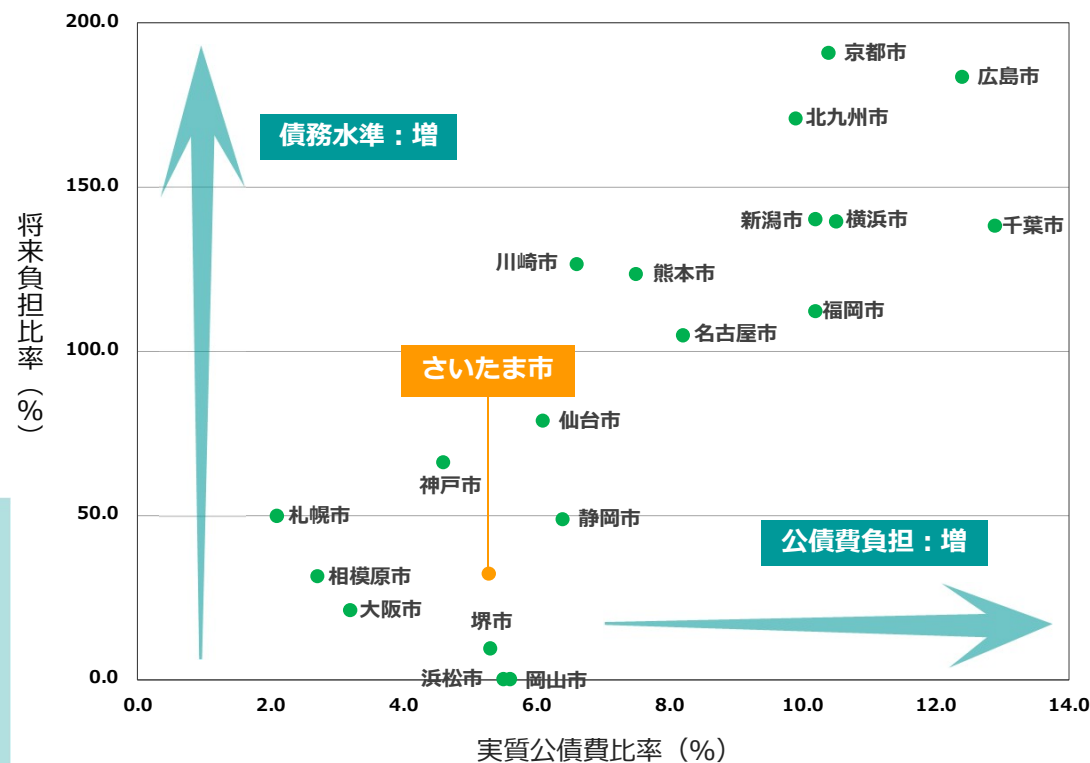
実質公債費比率

・ 地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。

将来負担比率

・ 現在抱えている負債が財政規模に占める割合。400%を超える団体は「早期健全化団体」となり、財政健全化計画の策定が必要。

実質公債費比率・将来負担比率の比較

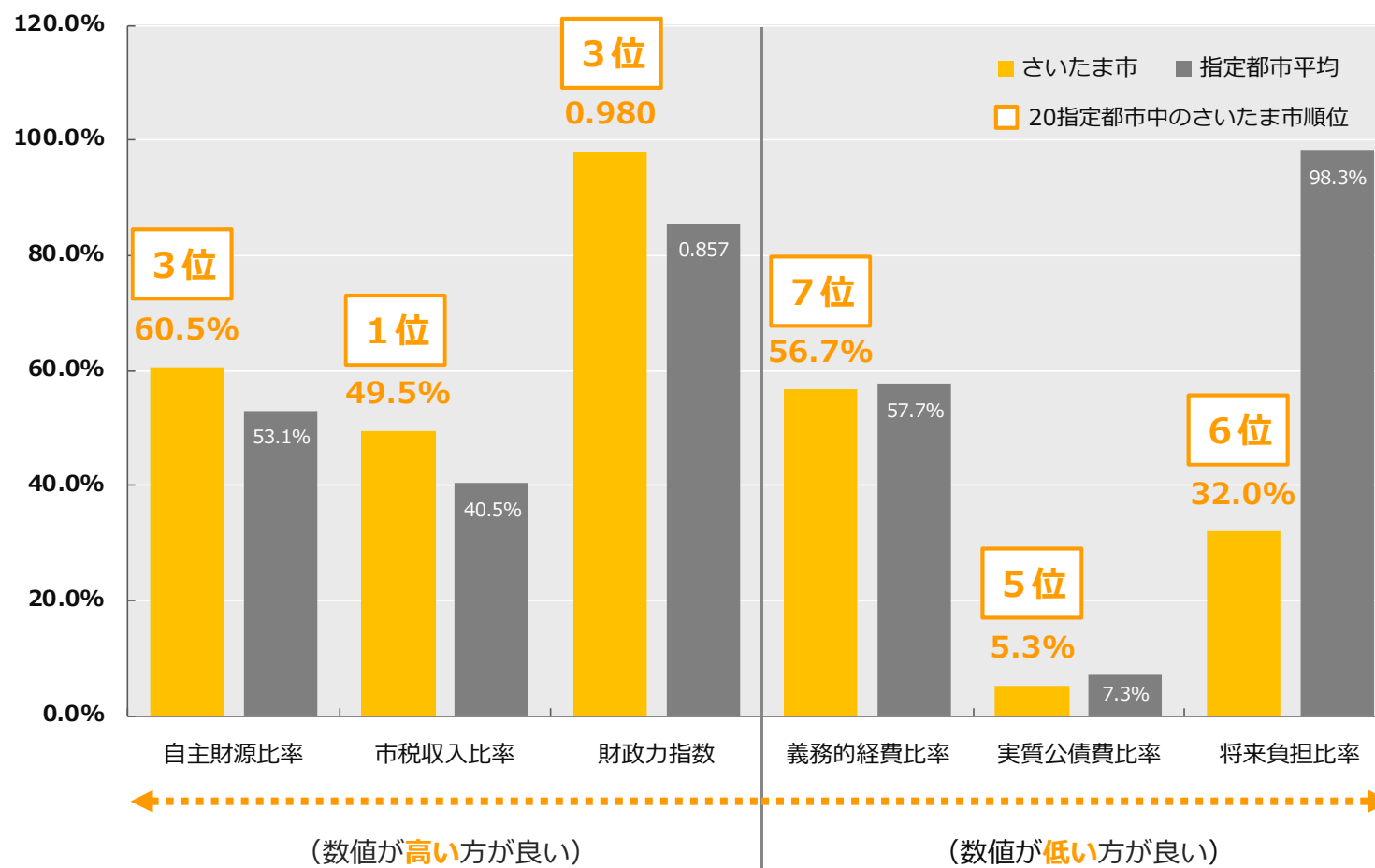


財政指標の比較（令和元年度普通会計）



・ いずれの指標も、他指定都市より比較的上位に位置している！

※ 特に「財政力指数」は、指数が高いほど市民税など自主的な収入割合が大きく、安定的な財政運営を行っていることを示すもので、さいたま市は3番目に高い財政力を備えている。

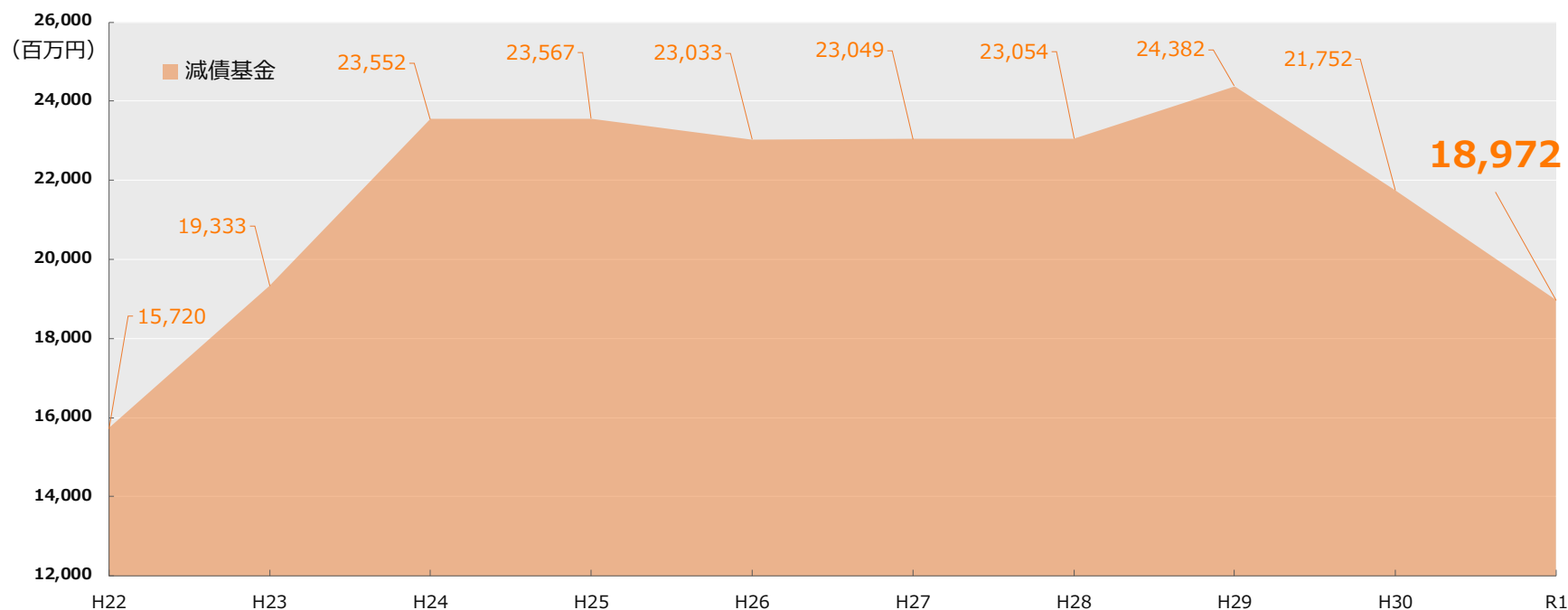


基金残高の推移

- ・ 将来の市債償還に支障のないよう、**着実な積立てを実施し、期日どおりの償還確実性を担保。**

※ 特に「満期一括償還分」については、10年の満期後に一部定時償還で借換を行うことを前提に、20年定時償還と同様のペースになるよう、借入年度の3年後より毎年度借入額の6%（6億円）を積み立てている。

減債基金の残高推移



令和2年度予算

「新たなさいたま市の創造」に向けた充実予算



さいたま市

- ・総予算額(一般会計、特別会計、企業会計の計)は**1兆58億円**となり、一般会計では、**さいたま市誕生以来、最大の予算規模**。

本市の予算規模

	R2予算額	対R1増減	増減率
一般会計	5,627億円	59億円	1.1%
特別会計	3,167億円	49億円	1.6%
企業会計	1,264億円	▲116億円	▲8.4%
合計	1兆58億円	▲8億円	▲0.1%

主な新規・拡大事業

真に災害に強いまちを目指して
～防災・減災対策の強化～

- ・激甚化する自然災害に対し、ハード・ソフト両面から更なる防災・減災の取組を行い、将来への備えを強化

「スマートシティ」の取組の加速化

- ・スマートシティさいたまモデルの構築やMaaSなど Society 5.0の時代に対応した取組を加速化

歳入・歳出予算(一般会計)

＜歳入＞

単位：百万円

	R2	R1	増減	増減率
市税	271,858	272,260	▲402	▲0.1%
国庫支出金	102,142	96,867	5,275	5.4%
市債	51,028	54,339	▲3,311	▲6.1%
普通建設事業債	43,046	45,293	▲2,247	▲5.0%
臨時財政対策債	7,982	9,046	▲1,064	▲11.8%
諸収入	33,827	35,084	▲1,257	▲3.6%
県支出金	27,298	24,979	2,319	9.3%
地方消費税交付金	25,615	23,042	2,573	11.2%
使用料及び手数料	7,823	8,068	▲245	▲3.0%
地方交付税	5,585	4,983	602	12.1%
その他	37,544	37,208	336	0.9%
歳入合計	562,720	556,830	5,890	1.1%

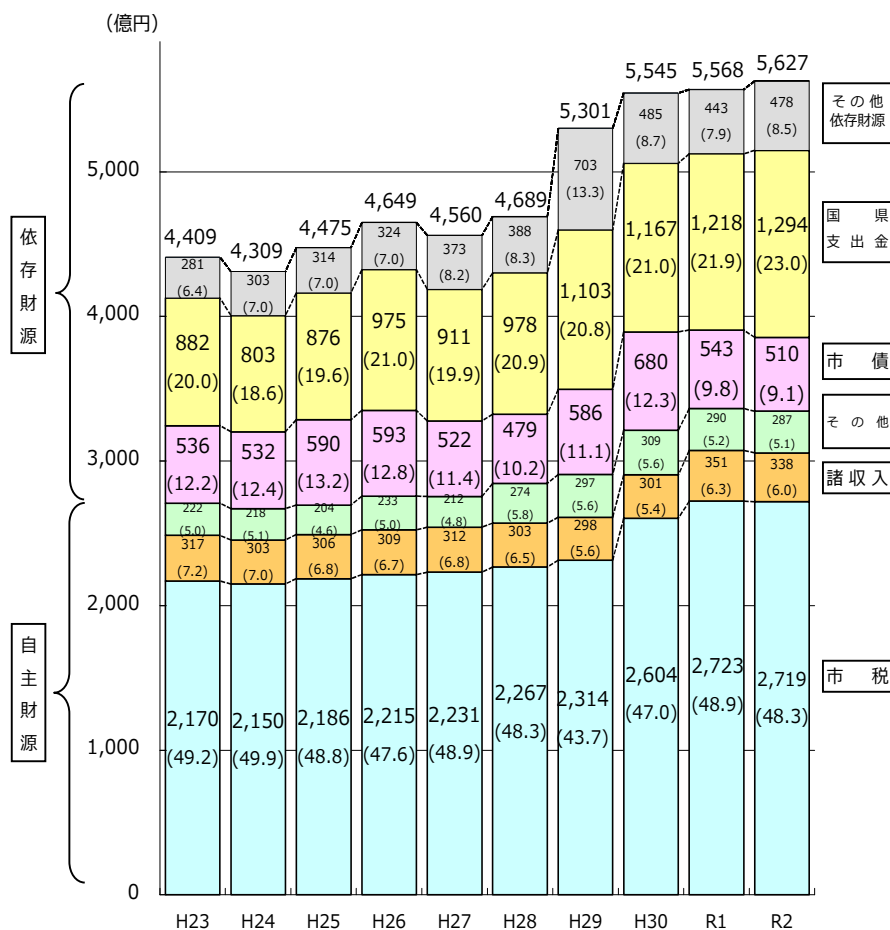
＜歳出＞

	R2	R1	増減	増減率
人件費	130,123	127,330	2,793	2.2%
扶助費	132,065	129,932	2,133	1.6%
公債費	54,831	53,362	1,469	2.8%
普通建設事業費	72,429	76,036	▲3,607	▲4.7%
その他	173,272	170,170	3,102	1.8%
歳出合計	562,720	556,830	5,890	1.1%

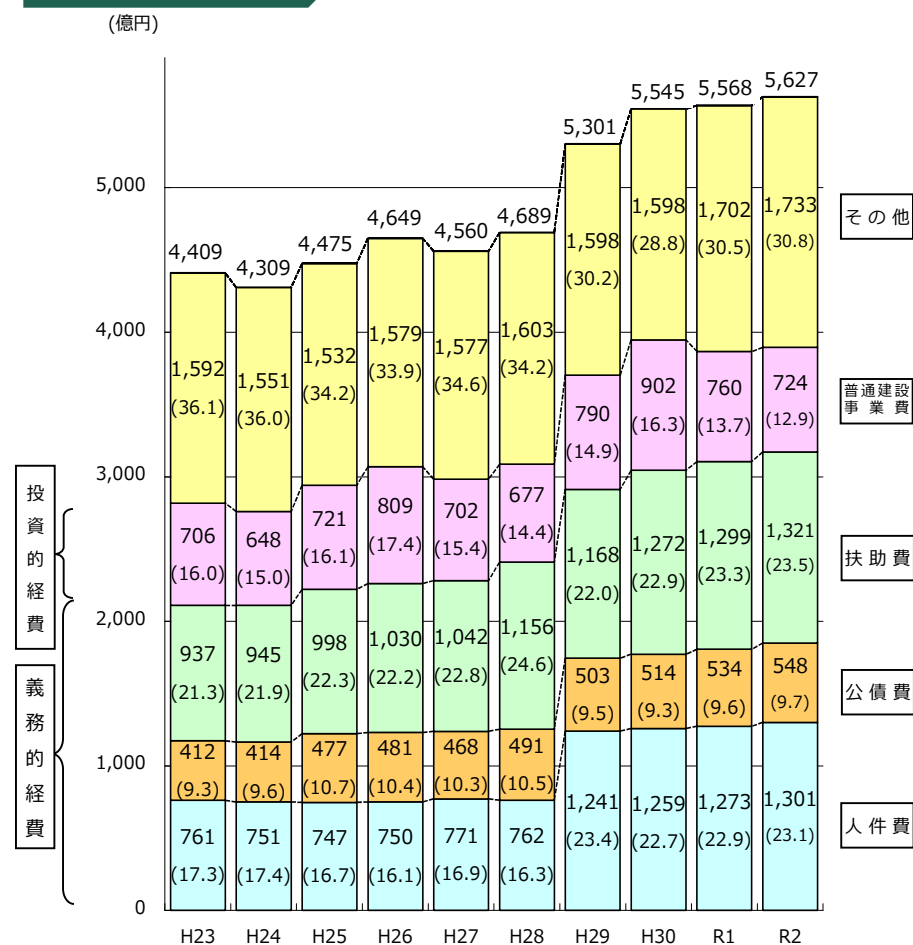
予算の構成比（一般会計）



歳入



歳出（性質別）



※グラフの()内は構成比

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と合計額は一致しない場合がある



新型コロナウイルス感染症対策(令和2年度補正予算)

新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度補正予算額は、
約1,775億円にのぼる！ ※令和2年9月補正予算後



一般財源は、以下から確保。

- ① イベントの中止等、令和2年度予算の執行見直しによる財源捻出
- ② 財政調整基金からの繰り入れ

雇用の維持と事業の継続等の支援 約1,706億円

- ・ 特別定額給付金の支給
- ・ 市内中小企業への臨時資金融資
- ・ 小規模事業者テイクアウト・デリバリー新規参入補助
- ・ 小規模事業者等に対する一律10万円の給付
- ・ 公共交通事業者に対する給付金の支給 等

経済活動の回復に向けた消費喚起 約26億円

- ・ 商店街活性化キャンペーンに対する補助の上乗せ
- ・ さいたま応援プレミアム付商品券事業
- ・ キャッシュレス決済に対する支払金額の一部還元
- ・ 宿泊施設に対し、宿泊割引に要する経費を補助

検査・医療体制の整備 約33億円

- ・ 入院患者の受入れを行う市内の医療機関への協力金
- ・ PCR検査機器、試薬等の購入 等

新たな暮らしのスタイルの確立 約10億円

- ・ 避難所に感染拡大防止に向けた備蓄品を配備
- ・ 家庭でのインターネット学習環境の構築 等

第3章



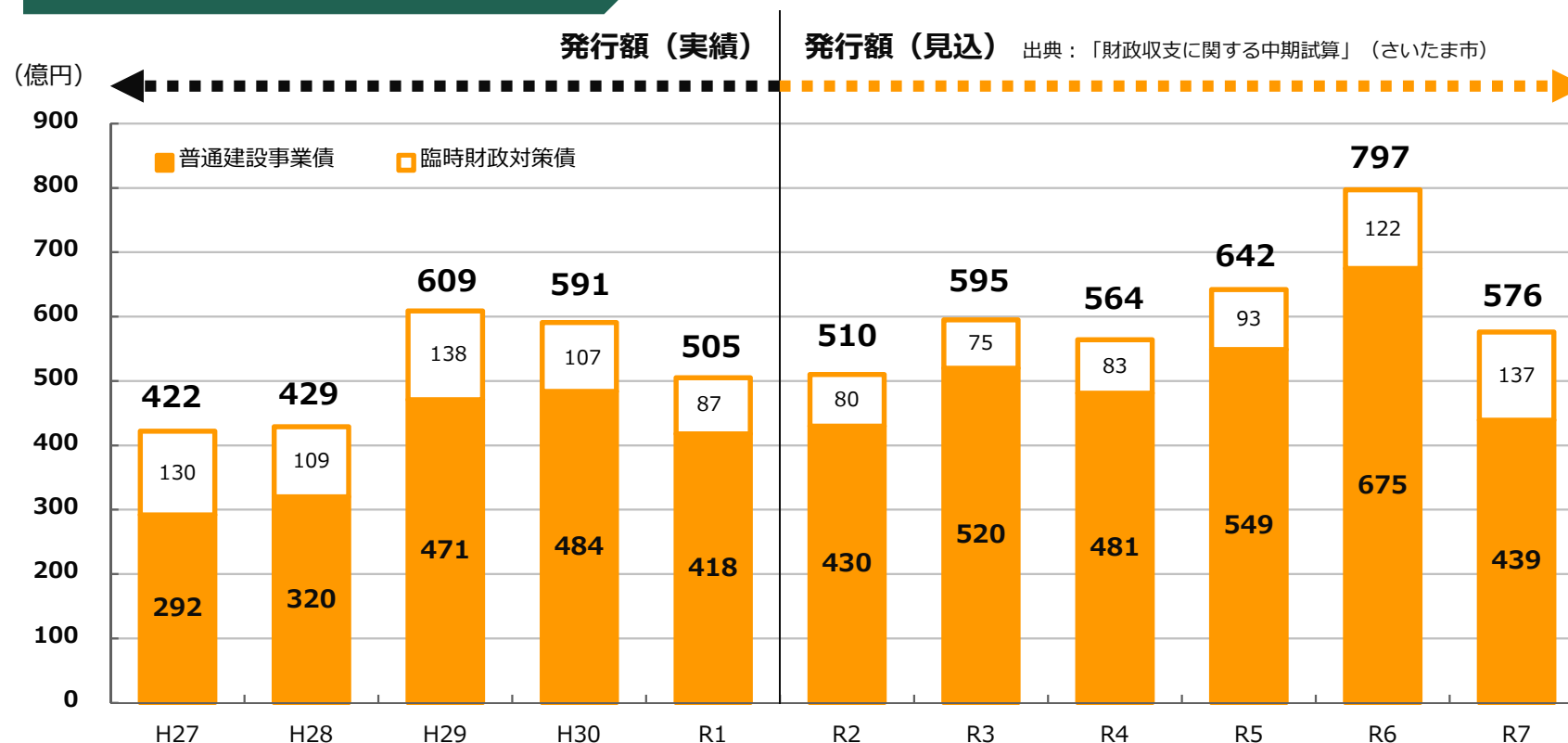
さいたま市の起債運営

市債発行実績と今後の見込み



- ・ 将来を見据えた持続可能な成長・発展に向け、**まちづくりへの積極的な投資を行っているため、普通建設事業債の発行額は増加傾向にあり、今後も更なる増加が見込まれる。**

発行額の推移（一般会計）

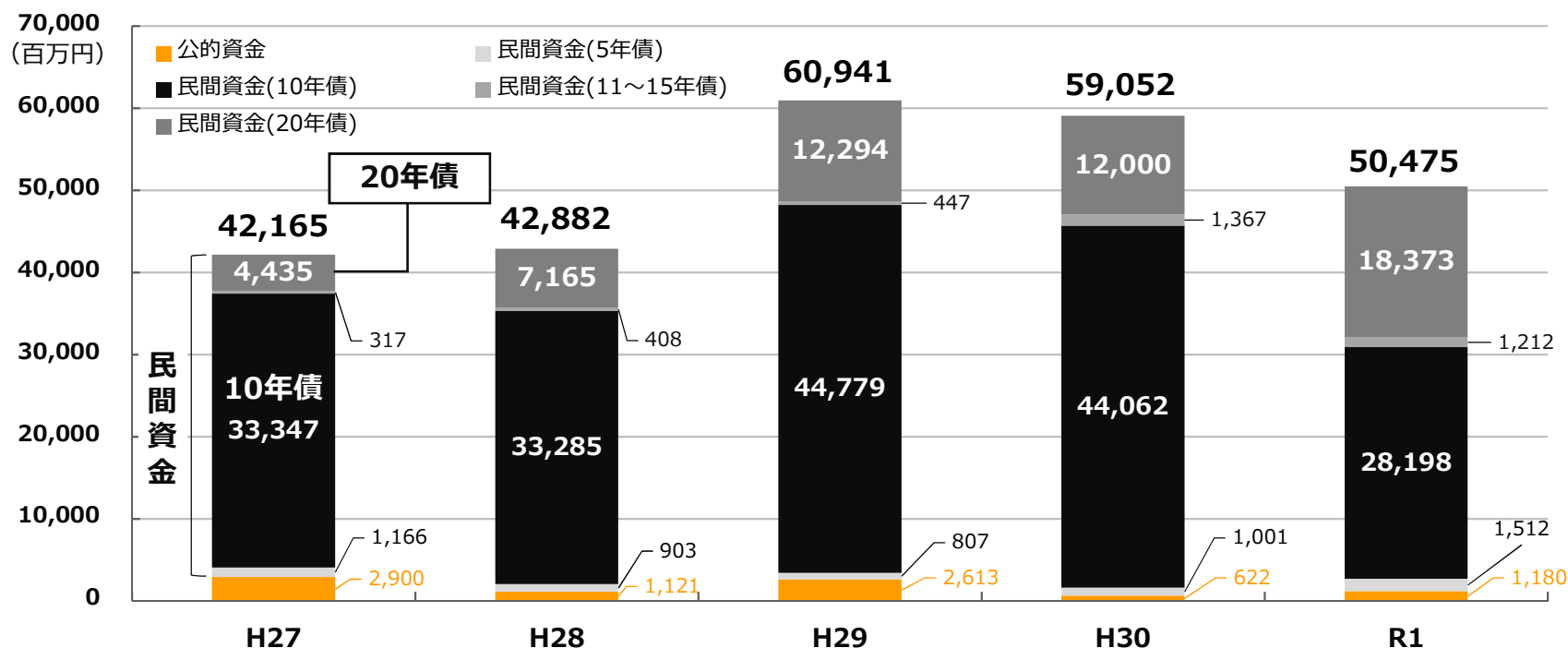


市債発行実績（調達先・発行年限）



- ・借入の大部分を、銀行等引受債や市場公募地方債による**民間資金**から調達している。
- ・これまで10年債の発行が中心であったが、公債費負担の平準化を図るため、**超長期債の発行額を増やしている**。

発行額・資金調達先の推移（一般会計）



市債残高の推移

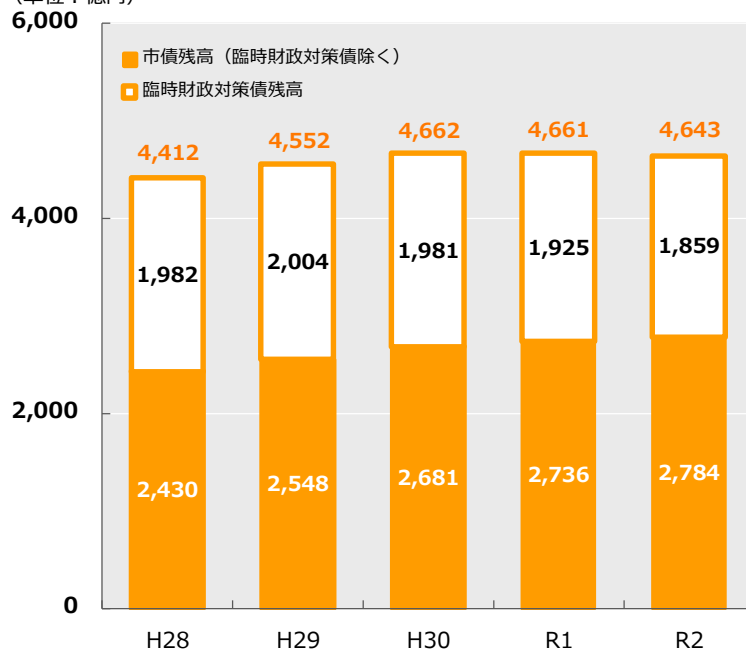


普通建設事業費の伸びに伴い、市債残高(普通建設事業債)も増加傾向。

一般会計の市債残高推移

- ・ 臨時財政対策債の残高は減少傾向。
- ・ 一方で、積極的な投資を行っていることから、**臨時財政対策債を除いた市債残高は増加傾向。**

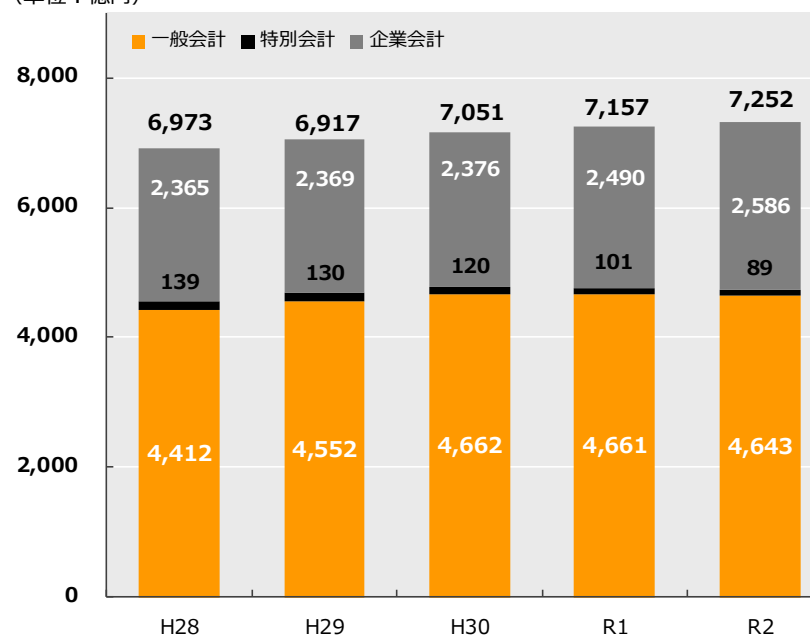
(単位：億円)



全会計の市債残高推移

- ・ 一般会計、企業会計の残高が増加傾向。
- ・ 企業会計は、病院事業会計で「**市立病院の建替事業**」を行ったことから、残高が増加。

(単位：億円)



注1) 借換分を除く。

注2) 令和2年度は年度末現在高見込額。

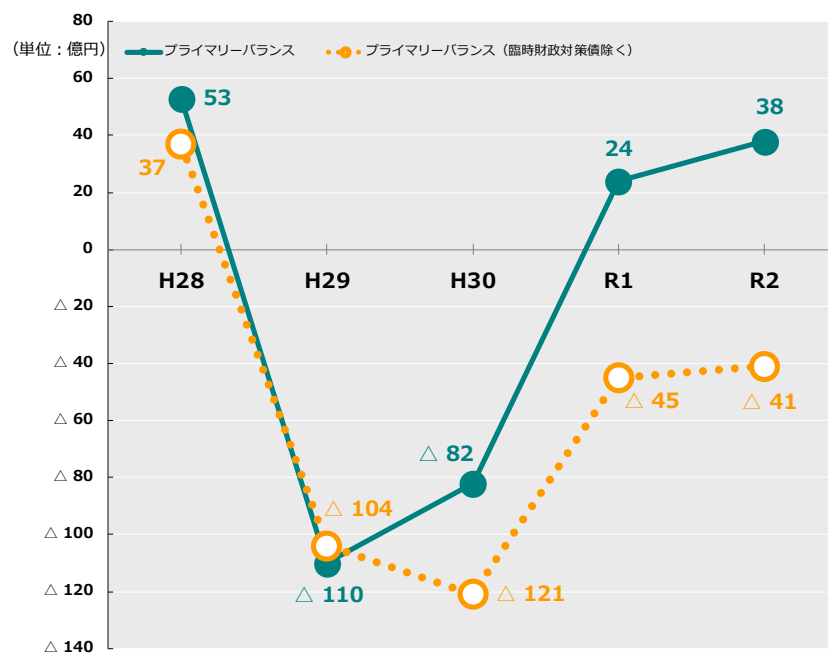
注3) 各会計ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

プライマリーバランスと残高比較



プライマリーバランスの推移

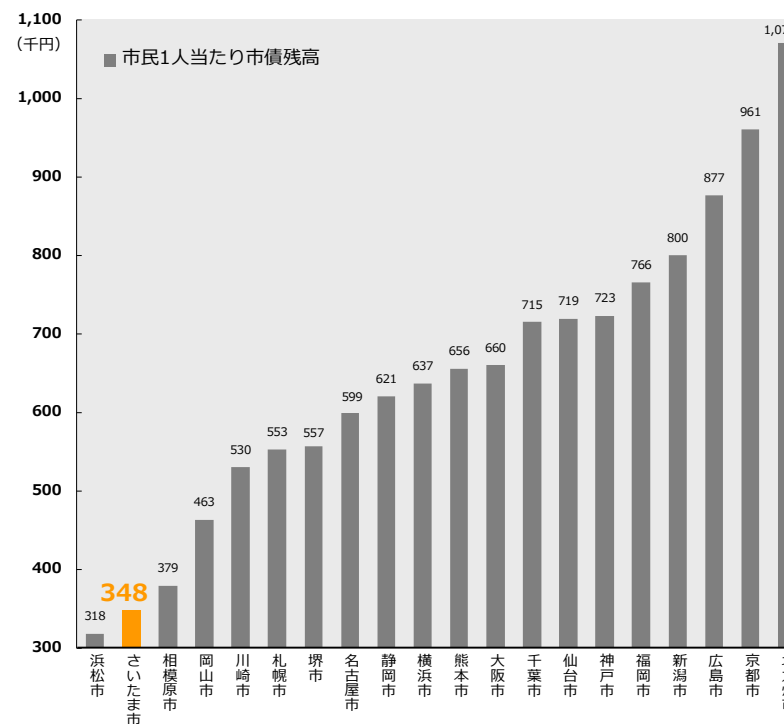
- ・プライマリーバランスを意識し、借入額や償還年限に配慮した計画的な起債運営を行っているところ。
- ・一方で、平成29年度以降、積極的な建設投資を行っていることから、令和元年度決算はマイナス。



注）令和2年度は見込。

市民1人当たりの市債残高

- ・積極的な建設投資により、市債残高は増加傾向にあるが、市民1人当たりで換算すると、34万8千円で、指定都市の中で2番目に少ない。



市場公募地方債



- ・ さいたま市誕生以来、**10年満期一括償還方式で100億円を年1回発行**

過去5年間の発行実績

	H27	H28	H29	H30	R1
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円
発行日	H27.12.25	H28.12.22	H29.12.25	H30.12.25	R1.12.25
償還日	R7.12.25	R8.12.22	R9.12.24	R10.12.25	R11.12.25
表面利率	0.464%	0.165%	0.210%	0.195%	0.110%

令和2年度さいたま市シンジケート団シェア

銀行団

名 称	シェア	備考
埼玉りそな銀行	20%	代表受託兼幹事
みずほ銀行	12%	副受託兼幹事
武蔵野銀行	5%	
三井住友銀行	1%	
埼玉縣信用金庫	1%	
さいたま農業協同組合	1%	
小計	40%	

証券団

名 称	シェア	備考
みずほ証券	11%	幹事
大和証券	10%	
SMBC日興証券	10%	
野村證券	7%	
しんきん証券	6%	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5%	
東海東京証券	5%	
SBI証券	4%	
岡三証券	2%	
小計	60%	



さいたま市

みんなが、のびのび、暮らせるまち。
未来に向かって、伸びて伸びて、いくまち。
豊かな自然、安心して住める環境とともに、発展、進化していく、
さいたま市の姿が<のびのび>のひと言に込められています。

連絡先

さいたま市 財政局 財政部 財政課 財源係

住 所 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6 - 4 - 4

電 話 048-829-1155

FAX 048-829-1974

E-mail zaisei@city.saitama.lg.jp